

# 鎌倉支援 学校だより

共生社会の泉湧く

鎌倉支援学校

Since1979



## 第2号

令和6年11月22日



### ～目次～

- 学校運営協議会（コミュニティスクール）とは
- 報告1 ICT機器を利活用した鎌倉支援学校の授業
- 報告2 学校のホームページを充実中
- 報告3 学校における防災教育
- 報告4 卒業生の進路と地域の小中学校等支援
- ごあいさつ

### 学校運営協議会（コミュニティスクール）とは

- 学校運営に関して、教育課程の編成その他教育委員会規則で定める事項について、校長が作成する基本的な方針の承認を行う。
  - 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べたりすることができる。
  - 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。
- というものです。学校運営協議会の中には学校評価部会、切れ目ない支援部会、学校防災(福祉避難所)部会もあります。

ぜひめくって  
みてください



## 報告1

# ICT 機器を利活用した鎌倉支援学校の授業

## ICT 活用推進プランを策定し授業を推進

### <肢体不自由教育部門の取り組み>

- ※①デジリハで体を動かして操作したり、視線入力
- ※②EyeMoT で色を塗ったり、児童・生徒自身の積極的な動きが見られました。

### <知的障害教育部門の取り組み>

調べ学習をしたり、まとめを発表したり、タイピング練習(サイトを利用)を行ったりしています。一人ひとりがクロームブックを操作して問題や質問に答え、振り返りながらすすめるなどの活用もあります。

#### ※①デジリハ

株式会社デジリハが提供しているリハビリツールです。

#### ※②EyeMoT

島根大学で開発している視線入力訓練ソフトです。ポランの広場 (<https://www.poran.net>) で配布されています。

### 卒業後の生活、QOL、自立と社会参加を考えた ICT 機器の利活用をすすめるためには？

#### <委員の方より>

- 意思決定支援を考えると、ゲームは自分で体験できるというよい取り組みである。子どもが何に興味を持つか、ニーズを読み取ることに活用し、探ってみるつもりで色々使ってみるといった発想を持ってはどうか。子どもの興味をどう伸ばしていくのかアプローチの仕方を考えていくといいのではないか。

## 報告2

# 学校のホームページを充実中

## カラフル、キャッチー、タイムリーなコンテンツ



保護者、地域、学校開放利用者に向けて情報発信していきます。

鎌倉支援の「今」がわかる、「財産」がわかる(施設、イベント)、「特技」がわかることを目指しています。スマートフォンでも見やすいものを作ります。今年度、40回更新しています。

### 今鎌倉支援学校を伝えるツールとして機能していくためにどうしたらよいか？

#### <委員の方より>

- 鎌倉支援学校だからこそ発信できるコンテンツ、関谷小との交流などはどうか。
- 学校の教育活動とランドデザインをひもづけるとわかりやすいのではないか。

## 報告3

# 学校における防災教育

児童生徒も、保護者も、地域の方もみんなで体験

大地震等に備えて、より実効的な避難訓練を行うことと、児童・生徒の実態に応じた防災教育を行うことを目標として 10月9日(水)に「防災デイ」を実施しました。地域の方の協力で、防災教育を進めることができました。

### 実効性のある避難訓練にするためには？

#### <委員の方より>

- 何が必要で何が大変かを整理する必要がある。
- ほしいものをリスト化し、環境設定を行う。
- 市の関係者や外部の関係者を巻き込み、地域とつながっていくことが大切である。

地域の方とのフィールドワーク



## 報告4

# 卒業生の進路と地域の小中学校等支援

誰もが安心して学べる地域になるためにできること

<進路より>肢体不自由教育部門では、複数の事業所利用で進路先決定の傾向があります。地域ネットワークをさらに強くしていきたいです。

<相談より>障害理解をどのように広げていくかが課題となっています。共生社会の実現に向けて、地域の方から「障害のある方とどのように付き合えばいいのか、方法を探っている。」という意見がありました。障害のある方を知ってもらうため、藤沢総合高校出前授業、関谷小交流を行っています。

### 障害理解を広げるためには？

#### <委員の方より>

- 切れ目ない支援とは、学校の中だけでなく、同世代の子どもを地域でどう育てていくかとも言える。柔軟な考え方ができる子どもたちの理解を深めたい。小中学校の子どもに伝えていくことは、10~20年後を見据えた取り組みである。学校現場にしかできない子どもたちへの教育が必要である。
- 特別支援教育は、外へ出ていくというスタンスで行っていくべきである。待ちではなく攻めの姿勢でやってほしい。

# ごあいさつ 「共生社会の泉湧く 鎌倉支援学校」

鎌倉支援学校長 立花裕治

日頃より、鎌倉支援学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

コミュニティスクールは、保護者や地域住民、関係の方々が学校運営に参

画し、地域ならではの工夫を生かした、特色ある学校づくりを進める仕組みです。鎌倉支援学校は、コミュニティスクールを本格的に稼働させ、地域の皆様に愛され、支えられ、地域の皆様と共に地域の子どもが安心して学べる「共生社会の学校」となれるよう、精一杯努めてまいります。

また、ホームページ等で PR も進めてまいります。学校を知ってもらうことで、様々な方と対話する機会やご縁をいただき、「共生社会の学校づくり」を共に進めていける仲間を少しずつ増やしていきたいと思っています。今後とも応援をよろしくお願いいたします。

共生社会の泉湧く

鎌倉支援学校

Since1979



## 用語解説 特別支援学校

学校教育法第1条に定められた学校。障害のある幼児児童生徒（視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

神奈川県内には、特別支援学校は53校あります。

## 探しています 職業体験 実習先

企業や事業所等の皆様に、ご理解とご協力をいただき、職場で実習を行っております。ご協力いただける方、関心のある方は、ぜひご連絡ください。

電話 0467-45-1482（進路担当）